

### 3-2-3 平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震(M7.2)に伴う地殻変動について Crustal deformations associated with the Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake (M7.2) in 2008

海上保安庁  
Japan Coast Guard

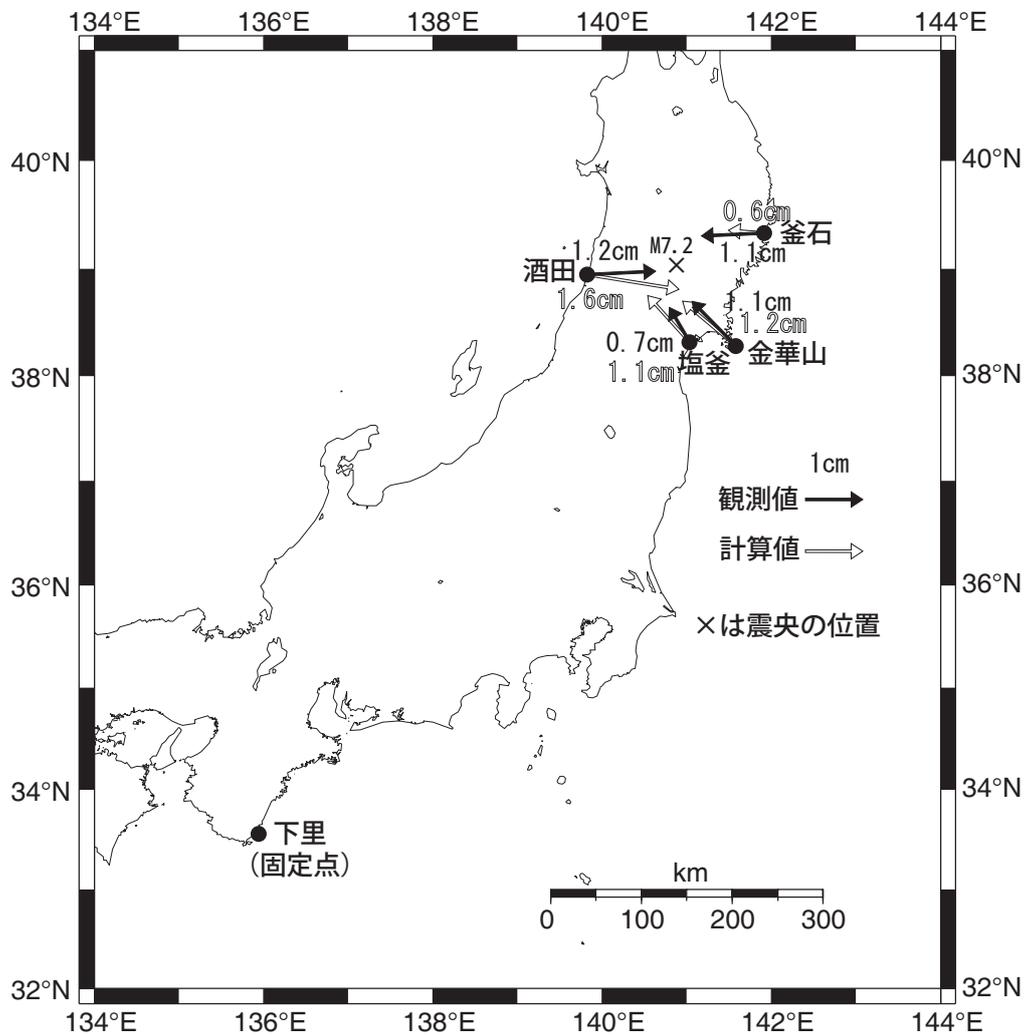
平成 20 年 6 月 14 日 08 時 43 分に岩手県南部で発生した「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」に伴う地殻変動が，海上保安庁の釜石・塩釜 GPS 観測点及び酒田・金華山ディファレンシャル GPS 局で検出された．地殻変動の大きさと方向は以下のとおり（第 1 図参照）．

釜石：西に約 1.1cm  
酒田：東に約 1.2cm  
塩釜：北西に約 0.7cm  
金華山：北西に約 1.1cm

ここで，図中の黒矢印は，2008 年 5 月 30 日～6 月 13 日を基準期間，6 月 14 日～6 月 28 日を比較期間とし，各期間の基線長の平均値の差から求めた観測値，白抜き矢印は国土地理院の震源断層モデルによる計算値である．計算には以下の断層パラメータを使用した．

| 北緯     | 東経      | 上端深さ  | 長さ   | 幅    | 走向   | 傾斜角 | すべり角 | すべり量 |
|--------|---------|-------|------|------|------|-----|------|------|
| 39.05° | 140.93° | 0.4km | 20km | 12km | 198° | 31° | 74°  | 3.5m |

解析には精密基線解析ソフトウェア Bernese Ver4.2 を使用し，精密暦（IGS 暦）・24 時間データを用いた．



第 1 図 平成 20 年岩手・宮城内陸地震 (M7.2) に伴う地殻変動 (釜石, 酒田, 塩釜及び金華山)

Fig.1 Co-seismic crustal deformations of the GPS stations (Kamaishi, Sakata, Shiogama and Kinkasan) due to the Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake (M7.2) in 2008.

Solid arrows show the vectors of observed crustal deformations, and open arrows show the vectors of crustal deformations calculated from the fault model by GSI.